総務文教常任委員会審査日程

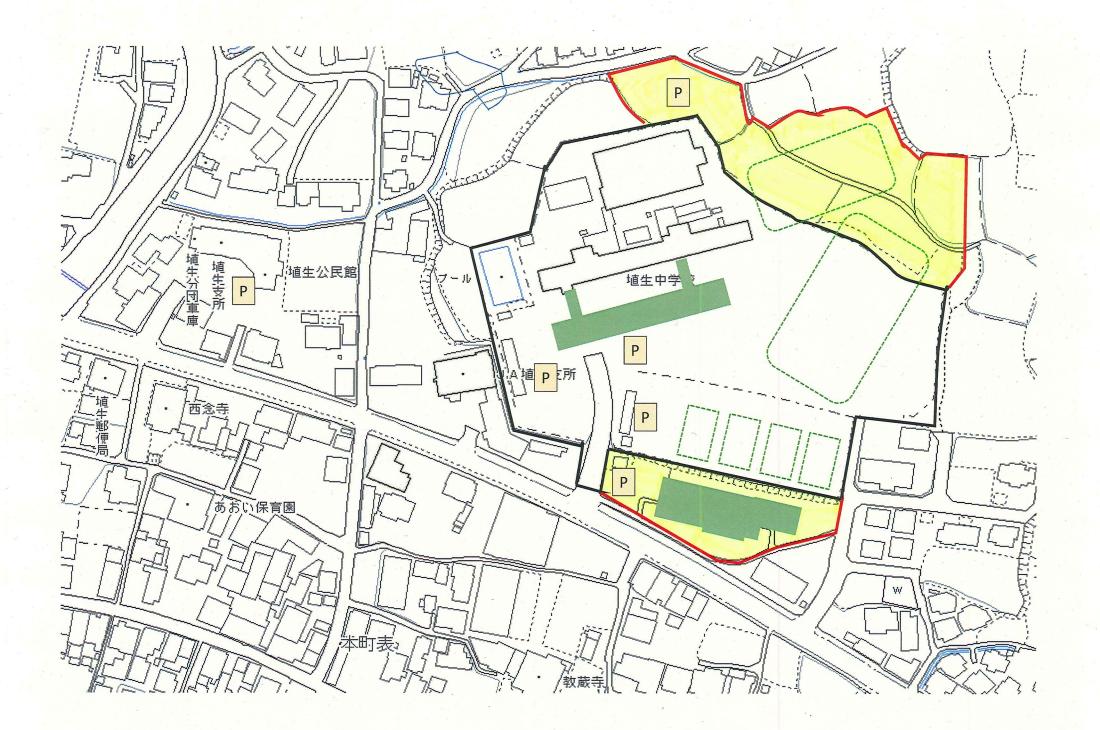
日 時 平成28年1月18日(月)

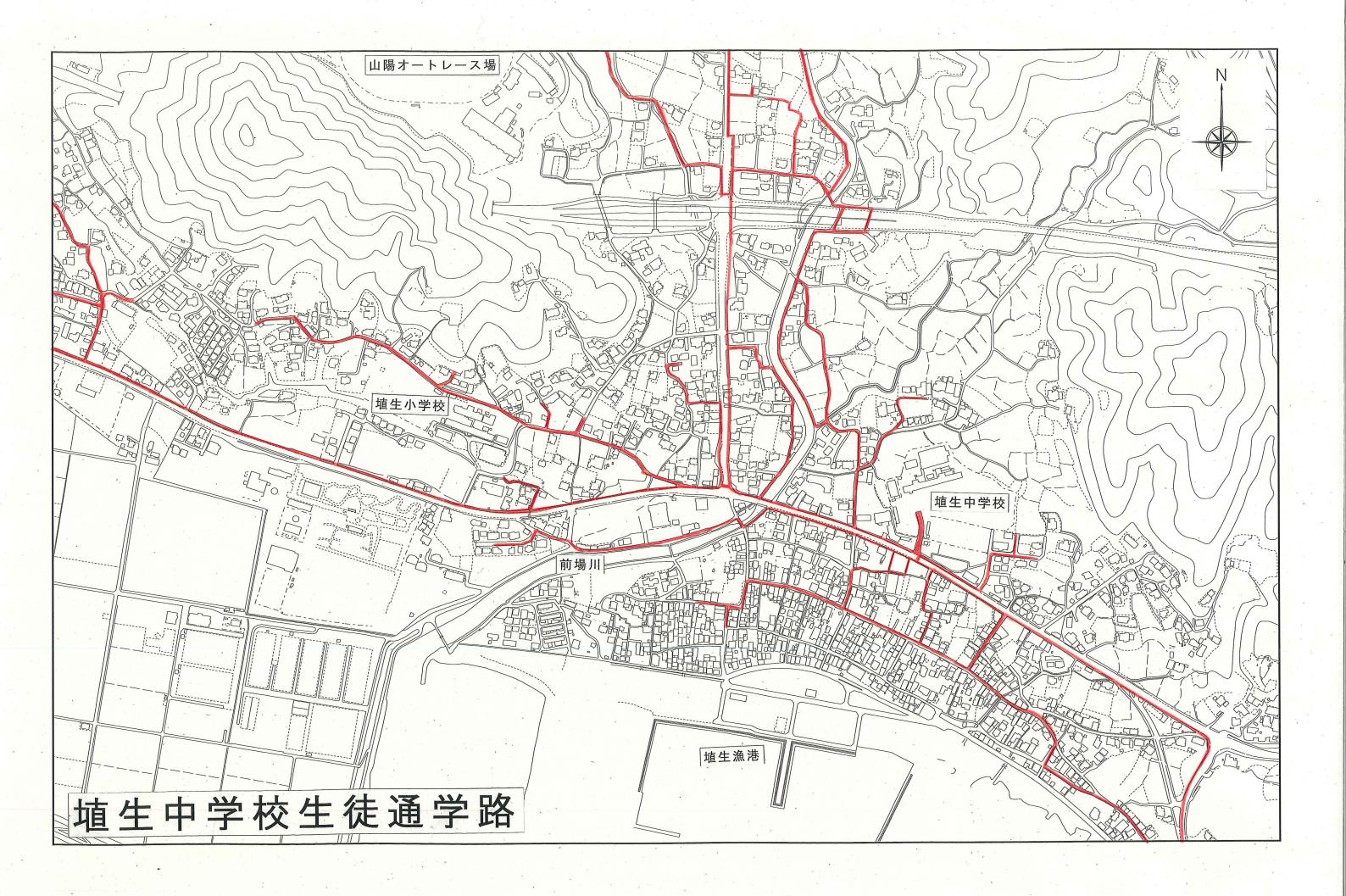
午前10時

場 所 第1委員会室

~審査内容~

1 埴生公共施設の再編について





山陽地区公共施設再編の経緯

23年度	9月~2月 山陽地区公共施設再編の庁内プロジェクト						
	※合併特例債活用も視野に入れて、老朽化の進んでいる山陽地区の公共施設のあり方を協議する						
	(厚狭地区:都市核、埴生地区:地域交流	拠点)					
	11月~3月 基本構想策定(業者委託)						
	【厚狭地区】	【埴生地区】					
	3月 厚狭地区で公共施設利用者との意見交換会	3月 埴生地区で公共施設利用者との意見交換会					
	→概ね了解、さらに意見交換を重ねる	→意見が割れて収拾がつかず 1					
	総論~位置や整備方針						
24年度	5/25 自治会長意見交換会						
	6/16,25 住民意見交換会						
	↓						
	8月 「厚狭地区公共施設再編基本構想」策定						
	9月~ 基本設計委託(~25.5)	9月 第1回地元住民による再編案づくり協議会					
	·地元WS(5回)	12月 第2回地元住民による再編案づくり協議会					
	・庁内PTほか関係課協議施設の概要	→結論出ず					
	※視察:12/3下松、12/3秋穂、1/9門司						
25年度		5月 ふるさとづくり協議会					
	7月 臨時会にて実施設計ほかの予算承認	_					
		8月 地元関係団体の意見要望の取りまとめ ②					
	修正	9月 埴生地区での市政説明会					
	8月 実施設計	10月 地元との意見交換会①					
		11月 地元との意見交換会②					
	↓	12月 地元との意見交換会③					
		1月 地元との意見交換会④					
		2月 地元との意見交換会⑤					
	↓	3月 地元との意見交換会⑥					
26年度	解体-整備	(埴生小学校の耐力度調査)					
		12月 地元との意見交換会⑦					
		1月 地元との意見交換会⑧					
		2月 地元との意見交換会⑨					
	2月 体育館棟完成	3月 地元との意見交換会⑩ ③					
27年度		4月 地元との意見交換会⑪					
		5月 地元との意見交換会① 総論~位置や整備方針					
		6月 (中止)③					
	┃ 8月 主棟完成						
	(外構工事)	9月 地元との意見交換会⑭ (4-1					
	↓	11月 地元との意見交換会(5) 施設の概要					
	2/8 供用開始	4					
		1					

複合内容 •山陽総合事務所

•厚狭公民館

•厚狭図書館

・保健センター

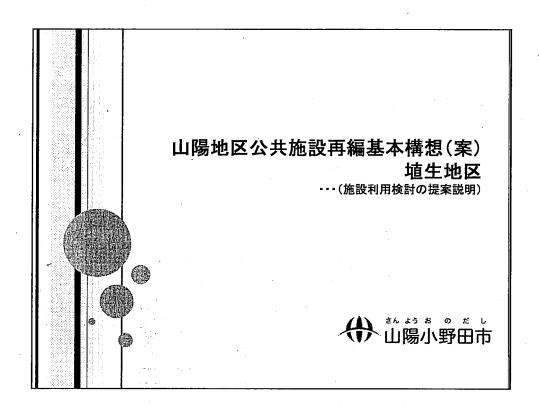
•埴生支所

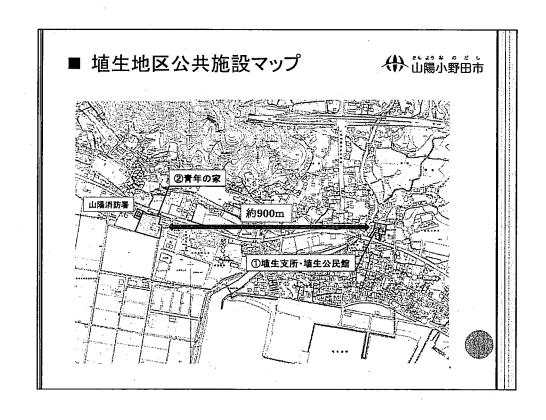
•埴生公民館

・青年の家(統廃合)

児童クラブ室

〇小中連携校





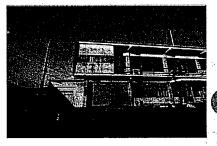
■ 各敷地、現施設の概要説明

山陽小野田市

要耐震改修建築物は昭和56年6月以前着工建物

①埴生支所	•埴生公民館
構造	鉄筋コンクリート造
階数	2階建で
延床面積	853.00m
建設年	昭和42年 (築44年) 要 耐震改修
敷地面積	2308.81m







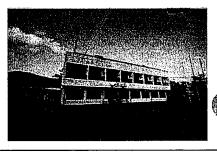
■ 各敷地、現施設の概要説明

₩山陽小野田市

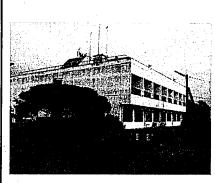
要耐震改修建築物は昭和56年6月以前着工建物



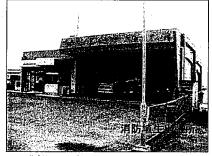


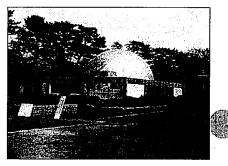






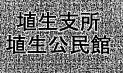






■ 各施設の現状

₩前陽小野田市



支所・公民館の二つの異なる機能を併せ持っており、特に公民館において満席となる講座においては駐車場が不足し、近くのJAや中学校に会場を借用している。

駐車可能台数は25台。

公民館行事に敷地が対応できてない。

- · 昭和42年の建設であり、新耐震基準を満足しておらず、耐震改修を要す建物である。
- ・階段などバリアフリー対応が必要であり、EV設置などの改修措置、若しくは、公民館部分の機能の移設を検討した方が良い施設である。



■ 各施設の現状



現在、老朽化のため本来の青年の家として利用されておらず、隣接する体育館やグラウンド利用管理などの事務所としての活用が主体となっている。

利用状況は少ないが、建物の損傷があり 維持修繕が必要である。

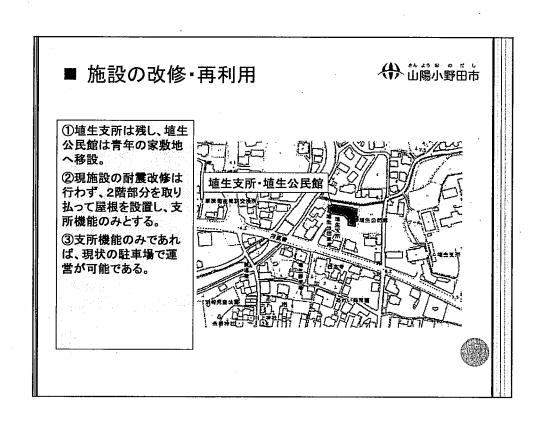
·昭和51年の建設であり、新耐震基準を満足しておらず、耐震改修を要す建物である。

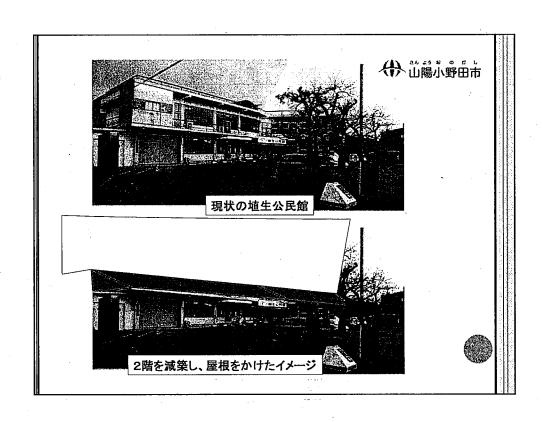
階段などバリアフリー対応が必要であるが、図面を眺めると公民館施設と似たような間取りであり、EVを設置、更には耐震改修措置を行うことにより、再利用が可能である。

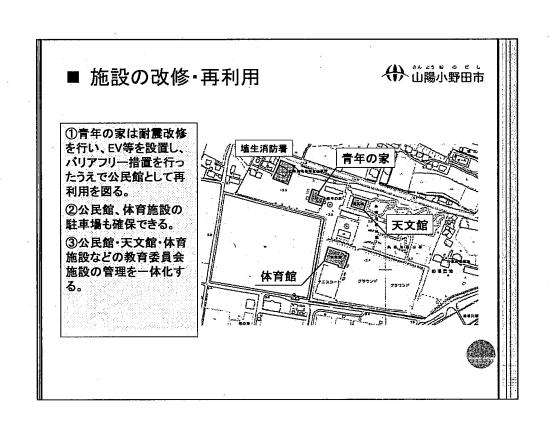
・山陽スポーツ協会の解散に伴い、平成24年4月から体育施設の管理を市で実施する必要がある。

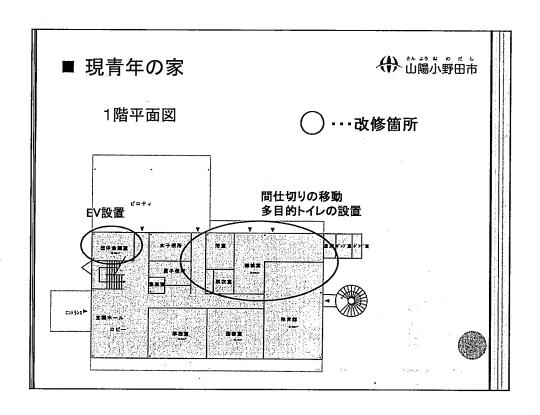
■ 今後の公共施設 現施設機能を踏まえて、必要な機能は何か? 公民館等 施設機能 本育館 施設機能

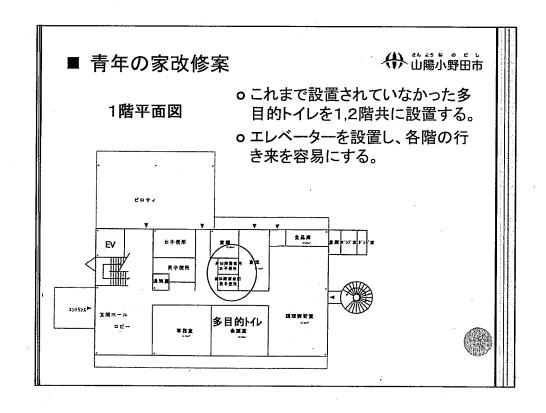


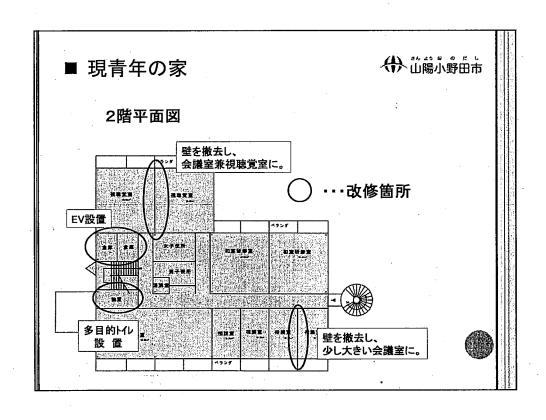


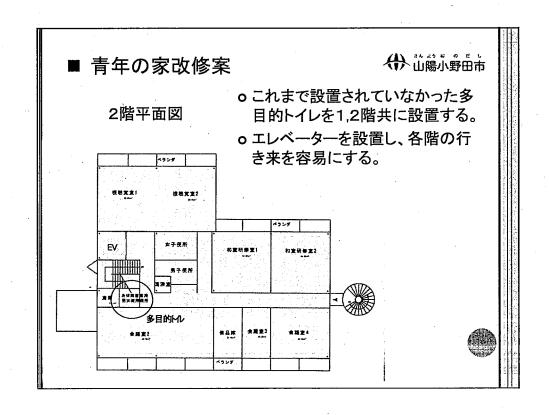


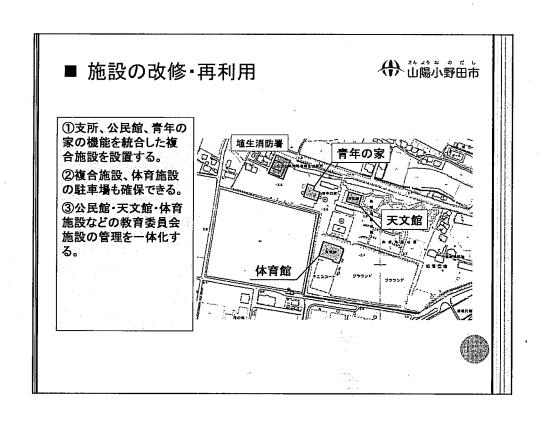


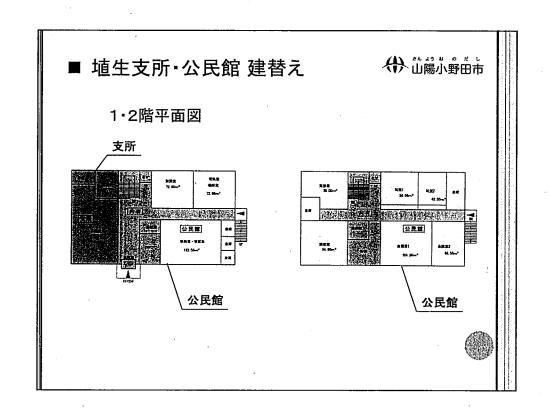












説明を終了します ありが*と*うございました

埴生地区公共施設再編に係る意見・要望について

H25, 7~8実施

・埴生支所や公民館は駐車場が狭いので、もっと住民の利用しやすい場所への移転を希望する。

1. 初めに

昨年からいろいろな会合に出席し、それぞれの立場の方々の考えを聞き、少ない情報資料をもとにし私見を述べたいと思います。

2、地域の特性口

- (1) 埴生の中心地は漁港沿いで集落が密集している。
- (2) 公共施設の建物は古く、また環境問題(アスベスト含む)の疑念がある。青年の家を含め用地としては広さもあり活用できる可能性はある。
- (3) 人口構成は県の構成とほぼ同じでますます過疎化が進捗している。
- (4) 大災害が発生する可能性は低いが、まったくないとは言えない。また現在の堤防構築は大地震による津波に対して十分とは言えない。

3、再編に係る事項

合併特例債の活用を前提に

(1) 埴生支所、公民館・図書館について

•安全性

進入口は狭く加えて駐車場も狭い。建物は老朽化。

•利便性

埴生の街の中心であり徒歩で支所に行く人も多い。

以上のことから埴生支所だけ現所在地として公民館・図書館を撤去し駐車場を広くする。青年の家を活用し、同地に高潮対策を講じつつ公民館・図書館を建設する。

(2)小・中学校の合併

安全性

建物は老朽化し、かつ環境問題もあり、加えてトイレ等衛生面について十分とは言えない。また通学路も今のままでは問題である。

• 機能性

グランドが狭くなり、小・中の割り当て運用の問題が生起する可能性がある。

以上のことから、まず学校校舎等をコンパクト化しグランドを努めて広くする。また学校の位置はバランスを考慮し、埴生中学校を中心に進めた方が良い。ただし通学、特に通学路の安全確保やグランドの運用における使用要領等について住民に明示・説明することが必要と考える。この特例債を使用できる期限も限られていることから余裕をもって説明することと、特例債を使用しない方向で進めば、それぞれがこの程度の工事しかできないことを住民に説明することも重要である。

4、結言

ー案を述べましたが、いろいろな案もあることは承知していますが、まずは実行することが肝要かと。特に重要なのは「安全性」、子どもの安全に最大限配慮して欲しいと思います。これをしっかり住民に説明することです。また、どのような案を提示されても諸問題はあるでしょうが、出来ること出来ないことも併せて説明し、特に出来ないことを行政の知恵と勇気をもって住民に説明(運用で処置・説明)することです。住民まかせでは意見の集約は難しいと思います。ぜひ行政関係者皆様のリードで施設再編を進めてほしいと思います。行政の皆様、腕の見せ所です。期待しています。頑張ってください。

〇埴生支所

バス・タクシー・自転車・徒歩者は現場所が良い。支所の用件と一緒に、郵便局・銀行・JAに行くのに便利。

〇埴生公民館

自治会協議会等、いろいろな団体が埴生地区に所属しているが、総会等多数の人が参加するとき駐車場が狭い。JA・ 埴生中学校に駐車し徒歩で参加、生涯学習教室等は津布田会館を利用している。一部の人が埴生公民館に行ってい るが、マイカーの人がほとんどである。青年の家の方に移転しても良い。

○青年の家について

補修等で済むものであれば補修で、また建替えであっても建替えて現在の所で使用する。(今までの話し合いでは万が一のことばかりが出て話が進んでいないと思う。万が一のことは、どこでも何が起こるかわからないことである)

〇公民館について

建物については、周囲の空き地の購入をして新しく建替え、また現在の場所は駐車場も少ないので駐車場としてのスペースもほしい。

〇小学校について

現在の児童数や今後の児童数の増減等を考えた新しい校舎建設を考え、場所としては埴生中近隣に土地を購入し移転したほうがいいのではないかと思う。(今後、児童数が極端に増えるとは思われない)移転となれば、現在の跡地管理等の問題等が出てくるので埴生地区で行われる色々な行事でお祭りや体育振興、文化振興等の行事色々なふるさとづくりに使う行事等が一ヶ所で行える施設として使えるようにして、例えば月1回とか2ケ月に1回とか各自治会で持ち回り整備を担当するとか他にもいい意見等も出てくるのではないかと思う。

・私は現在保育園に通う子供がおり、育児と仕事で市内の行政のことや住んでいる埴生地区のこともよく知らないまま過ご しておりましたが、今年保育園の役員をするようになり、地元の行事に子供を通して参加することも多くなり、これから地域 の子供達が育つ町がどうあってほしいか、親の視点でつたない文ですが書かせていただきます。

・市役所の係の方に何について書けばよいのかお聞きしたところ、公民館、支所、青年の家、小・中学校、全体的なことでとのことでしたので、これから私達の子供達が利用させていただく小学校、中学校、青年の家、公民館は、安全に使用できることと、清潔であることを考えて、必要であれば補修、改修をしていただきたいと思います。

・市は財政難だから既存の施設をそのままで、という意見もありますが、旧山陽地区でいえば、厚狭の駅周辺には複合施設ができるとのことで、旧小野田地区からも利用する形になるとは思いますが、やはり埴生で生活する者としては、青年の家を複合施設にとは言いませんが、糸根公園の松林の環境整備と美化と、夏の間だけでもプールが利用できるようになれば良いかと思います。最近では子供だけで外で遊ぶこともあまりないと聞きますので、必ず保護者の目が行き届くので事件や事故もほとんどないですが、糸根公園に子供を連れて行って思うのは、雑草や松林が昼間でも暗い感じで、冬に変質者が出たとのことですので、見通しがよい人目につかない場所ができないように環境整備をしていただきたいと思います。以上です。

- 1、いくら小さい街でも核のある街づくりが必要である。
- 2、新しい核の街を作るのであれば、倍以上のエネルギーと費用が必要とされる。それが可能であれば新しい発想のもと で長期計画に基づき、街づくりを行えばよい。
- 3、しかし、最小限の費用とエネルギーということであれば、現状を生かした街づくりを求めていくしか方法はないと思われる。
- 4、現状の埴生支所・公民館は、埴生の核に値する場所にある。付近には銀行・郵便局・農協・スーパー等があり、また埴生小、埴生中の中間に位置し、埴生のバス停、埴生漁港にも近い、位置的にも埴生の中心地にあり、自然災害にも強い場所にある。
- 5、ベストポジションはどこかということであれば、埴生外科より埴生駅側付近ではないだろうか。一部に青年の家の場所に 埴生支所・公民館をという話もあるが、
- 6、問題点として、高潮災害のリスクがあることと、レクレーションと生活の核は異質と考える必要がある。集中と選択という 面からも欠陥ありと考える。
- 7、現在の場所では敷地が狭小ということであれば、3階建にして1階を駐車場にすれば、ある程度は緩和できる。また将来的には隣接地と既存市有地を交換することも考えて施策を練ってはどうか。
- 8、曲がりなりにも、現在地は埴生地区の中心地にあり、場所的には特に問題はない。公共施設等の分散は町の衰退を加速させる可能性あり。
- 9、緊急時の市民の避難場所ということを考えれば現在地建替が現状では一番ベストである。
- 10、併せて現在高潮対策として前場川の河川改修が実施されていますが、これを機会に旧3号線から埴生漁港につながる道路の拡幅工事をお願いいたします。
- 11、漁業、農業の一体化の推進と夢花火を当市観光の目玉にするのであれば道路の拡幅工事は絶対必要条件と考える。

1、埴生小・中連携の早期実施の推進

- 1) 埴生小・中学校を中心とした安心安全な未来に向けた町づくりが必要と考えます。
- 2) 埴生中に現状のまま移転した場合、土地が狭く安心して勉強に運動に打ち込める環境か不安を、私も正直に感じるし父兄の方も多くあります。
- 3) 不安解消のために周辺の田んぼを購入していただき将来にわたり子供達が安心して勉強に運動に打ち込める環境が必要と思います。
- 4) 県下に誇れる小・中連携校建設を是非お願いしたい。厚陽小・中連携の校舎より木材をさらに使用していただき設備の充実した県下にないような素晴らしい木造学校の建設をお願いします。
- 5) 児童館を併設して、学校と地元の関係者が協力して子供達がひと時を安心して過ごせる環境をつくり、親達が安 心した働ける町をつくる必要があると思います。
- 6) 素晴らしい学校ができ環境が整えば他の地域から埴生の学校に入学させたいと思われる学校。
- 7) 埴生の町づくりの中心地として可能なら支所・公民館の建設を小中と同じ敷地内にお願いします。
- 8) 埴生小の耐震化の工事は絶対に行っては駄目です。老朽化がひどすぎるし将来が闇です。
- 9) 教育委員会として小・中連携校の青写真を提示してほしい。
- 2、地域の安心安全を考えれば現在の公民館周辺の建設が必要となります。
 - 1) 埴生地区の半数が海岸から2号線の中に住んでおり、災害が発生した時は公民館か埴生中が避難先です。
 - 2) 現在の公民館の隣に同じくらいの広さの農地があり両方合わせれば素晴らしい公民館ができますし、ここは地区 住民の最短の避難場所にもなっており、この場所以外に適当な場所は考えられません。
 - 3) 公民館を一部の人の意見として青年の家に移転してはとの意見もありますが大きな間違いですし、過去の災害を見ればこの場所の移転は考えられないのです。災害の度に2号線から海岸線が多大な被害を被っているのがわかると思います。災害のない時は安全な場所と勘違いをして建設費をできるだけ安く考え、住民の将来にわたって安心安全を考えないことは絶対にやめてください。
 - 4) 将来の安心安全を考えれば、一時の支出があっても市民の将来にわたって命の保障を考えてください。
 - 5) 埴生はご承知のように公共施設は全て老朽化しており病院も名ばかりのものしかありません。公共施設の建設を きっかけに将来のある町つくりを考えなければなりません。これ以上、わが町を寂しい過疎化には絶対にしては将 来性はなく、行政にも責任があります。

市長、教育長、行政の皆さん、公共施設建設に県下にないようなものをお願いします。中身は住民で考え素晴らしい町づくりを行います。

地元住民で再編検討していますが、自由な意見があり、まとまりなく進行している状態です。行政より再編建設に伴う条件を明確に(規模)提案説明して会議を進行、また当初の説明により案として建設図面等を提示してください。

場所は青年の家敷地に集合させることが望ましい。

(理由)

- 体育施設利用者を厚狭地区、下関地区からも多くの利用を募ることができる。
- ・海抜0mということであるが、建物が建つ場所を盛土するとか建物を2階建あるいは3階建にしてでも青年の家敷地を利用する方が費用面でも合理的と思う。
- ・埴生地区の中心地は中村地区と言う意見もあるが、狭い埴生地区ではどこでも大差ないと考える。
- ・日頃、メルヘンサークルは埴生公民館を利用して人形劇や読み聞かせの練習、また未就学児とその保護者対象のおはなし会を定期的にしています。先日、人形劇の練習をしていたところ、外の上の壁がドサッと下に落ちて皆メンバーがびっくりしました。建物が老朽化して、練習していてとても不安です。
- ・小さい子のお母さん方がおはなし会に来られる時、他の会の行事と重なり、駐車場がなく混雑してとても困っています。 ・そこで、すぐに公民館を建て直してほしいと切に願っています。どうか、私達地域のボランティア活動をしている者たちの願い、地域の保護者、利用者の願いを聞き届けて、新しい建物を建てていただけるようにお願いいたします。
- 小学校・中学校については、児童数の減少に伴い仕方ないが、高台に建設計画にしてもらいたい。
- ② 公民館は老朽に伴い建替えが必要です。避難場所になるように高台にしてもらいたい。

埴生中学校の北東部と国道に面する南部の私有地を取得し、中学校の北部に進入通用口をつくり、公民館と小学校を拡張された中学校の敷地に建設する案に賛意をもっています。

(理由)

- ・地理的に埴生地区(津布田も含めて)の中心である(それに近い)。
- ·学校教育、社会教育の集合地となり、相乗効果が期待できる。
- ・交通の利便性があり、駐車場も確保できる。
- ・埴生小学校の保護者が心配する敷地の確保、通学の安全がより図られる。

個人の意見、要望はいろいろあると思いますが、最終的には合併特例債を含め、財政面を考慮し、市が最善の計画案を出され、住民の多数の賛意を得て、計画を実施してほしい。

・埴生公民館及び支所等について

公民館・支所・青年の家を含めた複合施設として多目的な機能を有した施設を、青年の家に建立されたい。環境的にも 松林に囲まれており、また敷地も広く(市有地)建設費も安くあがると思う。山陽小野田市の西の玄関口にふさわしい複 合施設となることを希望します。

・ 埴生小、 埴生中の連携について

津布田小と埴生小が統合し埴生中の傍に建設されることを希望していたが、津布田小が統合に反対したため、現在津布田小は耐震補強の工事に入っているので、埴生小・埴生中の連携校として埴生中の傍に建設されることを希望します。年々、児童生徒数が減少の一途にある現在、それらを含めてコンパクトでより充実した校舎の建立をお願いしま

地域住民主体での話し合いはどうしても地域エゴが出て前に進むことが難しいと思うので、行政主導での考え方に検討していただきたい。

本テーマについては、第一段階として再編対象施設を特定し設置場所を確定すべきと考える。施設配置・内容・仕様については第二段階で協議・検討することがスムーズと思います。この視点に立って、公共施設再編に関する意見・要望を以下に列記します。

1、対象施設

- ① 1ヶ所にまとめるべき施設は、支所、公民館あるいはコミュニティセンター、青年の家等の老朽化の進んだ公共施設と考える。なお現在埴生地区にない図書館と情報センターを兼ねた小規模な図書・情報コーナーを新たに設けて欲しい
- ② 行事・活動開催時にのみ利用される運動場、体育館等の施設は必ずしも1ヶ所にまとめる必要はない。
- ③ 埴生小・中学校連携・統合については、現時点ではその賛否が確定していないので、今回の再編計画から切り離すべきである。本件を議論するとその賛否のみに時間を取られ再編計画の本論に入れない。

2、位置・場所の要件

- ① 新規土地購入ができるだけ少なく、土地開発等の費用の低減を狙える場所
- ② 高潮被害、河川氾濫災害、土砂崩れ被害を受けにくい場所(津波被害については必ずしも必要条件ではない)
- ③ 自動車でのアクセスが良好で、十分な駐車スペースが確保できる場所。なお高齢者・身体障害者等の交通弱者に とって良いアクセス性を確保することは別途対策を考慮すべきである。
- ④ できれば民家から少し離れた所(公共施設内での喧騒が届きにくく、時報サイレン等が鳴らせる場所)※候補地として、山陽オートの遊休駐車場があげられる。

3、施設の配置と仕様

原則として場所を確定後議論すべきである。特に施設内の配置、内容、各種装備(冷暖房、換気、建物内外装等)については、別途施設利用者・団体の意見を集約すべきである。

4. その他

再編により移転となった旧施設及び跡地の利用・管理について、事前にしっかりとした方案を決めるべきである。廃屋、 荒れた土地となり近隣の迷惑設備となることを避けるため。

昨年3月27日の企画課の計画で概ね賛成です。西側に移動するので東側住民の高齢者の交通手段等の対策等の提案も説明が必要だと思います。企画課の再編計画には入っていませんでしたので、今回の事案の中には含まれていないかもしれませんが、小・中学校の連携校建設については、敷地面積、通学路、低学年の負担等の問題、不安が解決されず、小学校保護者の7割がアンケートで反対と意思表示され、現状場所での耐震工事を希望されています。当事者である保護者の反対多数の中、連携校建設には問題があると思います。

公共施設の再編について、地元の要望、意見を聞くばかりでは再編は進まない。市行政が基本的計画を早期に立てて、地元に説明して地元の理解を得るべきである。埴生中に小・中一貫校を建設すれば、通学区域が広がり、低学年の子供の通学が困難になる。また防犯、安全上の心配などいろいろな問題が生じ、メリットなし。小・中学校とも現在地が適地である。老朽化が進めば、建替えるしか考えられない。少子化が進む中、小学校を建替えて、公民館を併設市、学校と地域の連携を深めるようにしてはどうか。

・埴生地区には、いろいろな施設がありますが、どこも老朽化が進んでいます。小学校と中学校を同一敷地内にすることは 賛成です。また小学校についても津布田と埴生を合併する方がこれから先のことを考えると子供達にとっても良いのではと 思っています。敷地面積については難点があるのかもしれませんが。津布田保育園にしても埴生地区との合併は無理ですが(私立2園と幼稚園なので)厚陽保育園と合併した方が良いのでは、とも思っています。(保護者の中にも自分の職場に近い所や通り道の園を選ばれる方も多いので)

・またせっかく青年の家など広い敷地と建物があるのに(廃屋を思わせる青年の家の入場門は特に気になっています)、近くには花の海という施設もあるので、もっともっと有効利用ができないものかと思います。子供達やお年寄り、若者など幅広く利用できる広場や遊具等(例えば江汐公園にあるようなアスレチックなど)の確保や四季が感じられる大きな花壇など何か目玉になるものが必要なのではと感じます。

・わが園では年に1回、プラネタリウムを利用させてもらっていますが、とても良い(古いですが)施設があるのに、全てが中途半端な感じがし、もったいないなぁと思います。海あり、山あり、山陽道のインターあり・・・と立地条件の良い埴生地区にたくさんの人達が集えるのではと思います。

実現可能な場所として、市所有の青年の家周辺土地の有効活用が良いのではと思われる(津布田中心部から遠くなる不安も残るが)。地区住民が一日も早い合意形成に向けて検討すべきだと思われる(女性の視点も入れる)。

・埴生公民館(一部埴生支所)は、昭和42年からのもので長い間住民の文化の拠点として充分なる役割を果たしてきましたが、建物の老朽化は言うまでもなく、高齢化社会の現在、各教室・学級等の利用者は高齢者ばかりで階段のある建物は不向きで、参加できない状況があります。

・従来の公民館の役割は社会教育的な目的使用が多く、高齢社会になった現状では福祉目的で使用できる施設としても考慮し、高齢者の生涯対策、認知症予防教室、招待給食会、敬老会等の行事にも利用(使用)できるようにする、また高齢者の健康維持と親睦、交流を目的に軽運動ができる場所もあったら良いと思います。

・もちろん図書室や視聴覚室は備えられなければなりませんし、文化祭等の行事も地域で生きていく絆の証として盛大に続けていきたいと考えます。

・以上の要望を達成するには環境が良く建設用地のある糸根公園の一画が良いと思います。駐車場もあり、現在ある体育館やプラネタリウム等有効活用のチャンスで、あの広大な糸根の松原を活かす方法が人の流れを変え、拠点がくることと相まって新たな町づくりの端緒になると信じています。

・埴生地区中心論なるものを主張する向きもありますが、現在自分の家に近い理由、自分の便利さの理由でエゴ以外の何者でもないと思います。新しく建設した場所を愛し発展させる心構えが郷土を発展させる原動力であることを認識しています。

公共施設の再編についての基本的な考え方は、利用者の思いであり、学校教育と社会教育の考えが異なりますので、学校 (小・中一体型)の再編と公共施設(埴生公・支所など)の再編の意見交換の場を切り離すことが良いと考えます。

埴生地域の将来のまちづくりの構想として、既に埴生の西部地域はスポーツ・ふれあいゾーン、健康ゾーンとして現在既に多くの利用者でにぎわい、利活用されております。(例えば、青年の家では子供から成人・老人までが公園や図書室、卓球などの利用また運動場では野球、ソフト、グランドゴルフ、陸上などであります。テニスコートや糸根公園ここではアスレチックや文化財の視察、散策コースにもなっています。また天文館の利用では星の教室や星の勉強が行われています。体育館では、バレーボール、インディアカ、柔道、ダンスなど多くの利用者でにぎわっています。またプール施設は多目的に何か利用できると考えます)

この地域には、農業法人があり、多くの観光客で花をめでたり動物とのふれあい、コンサートもあり、農業体験ゾーンとして 官民連携も図られます。このことからして、青年の家は現在地でよいのではないかと考えます。

公民館・支所では現在駐車場が狭く利用者から不満が出ています。埴生地域の中心は津布田地域の市民も利用される、公 民館・支所の施設は文化教育ゾーンとして新たに創り、中心地でもあります中村東側に創設したらいかがでしょうか。

中学校敷地周辺に建設ができればと考えます(土地購入が必要か)。それとJAと協力ができればと考えます。周辺にJAの所有地があります。埴生中・西側の一部利用、南側もさらに利用できます。

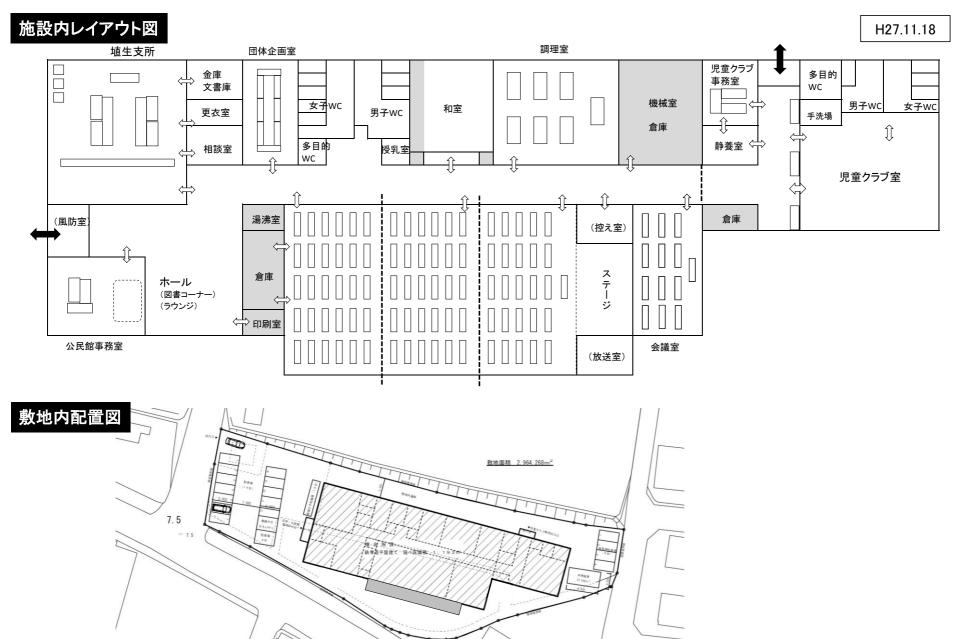
埴生小・中一体型施設について、現在の埴生中に埴生小学校(埴生小耐震化は至急すべきと考える)

埴生地域の人口減少や少子化もあり、小学校・中学校の子供同士が仲良くできる環境であり、学習面からも小・中の全生徒に個別教育の指導ができる利点もあると考えます。

また高台に小中一体型施設の建設は避難所にもなり、有効な施設移転にもなります。ただここを文化・教育ゾーンにするには敷地が狭小であり、土地購入が必要になります。また、埴生小の跡地利用については、近くにスポーツゾーン、健康ゾーンなどもあり、利用ができると思います。また相撲道場や体育館などの多目的利用ができると考えます。

埴生地区公共施設再編に係る意見交換会

	坦生地区公共施設冉編に係る息見父撰伝							
回数	日にち	時間	参加 人数	配布資料	討議内容・結論			
1	H25.10.22	19:00 ~ 20:40	30	•施設概要、•位置図	自由な意見の聴取			
2	H25.11.20	19:00 ~ 20:50	28	・アンケート回答・地図、・人口分布図	配布資料説明後、自由な意見の聴取。市民資料あり。			
3	H25.12.18	19:00 ~ 21:30	24	・施設概要、・埴生地域のまち づくりに関するペーパー	配布資料説明後、自由な意見の聴取。			
4	H26.1.15	19:00 ~ 20:55	30	なし	自由な意見の聴取。			
5	H26.2.19	19:00 ~ 20:50	23	・20年以上前の都市計画図	自由な意見の聴取。市民資料あり。			
6	H26.3.19	19:00 ~ 20:50	26	・新聞記事写し ・航空写真写し	埴生小学校の耐力度調査の結果が判明してから、意見交換会を参加することとなった。			
7	H26.12.22	19:00 ~ 20:10	30	・耐力度調査結果 ・市の再編案のパターンを記 したペーパー	耐力度調査結果を説明後、校舎の延命化、建て替えについての挙手を求めた結果、「建て替え」を今後の方針とすることとなった。ただし、場所はまだ決めない。			
8	H27.1.21	19:00 ~ 21:20	30	・埴生地区の新たな学校像・市の再編案のパターンを記したペーパー	教育長から小中連携についての説明、公共施設 の再編パターンについて説明。			
9	H27.2.18	19:00 ~ 20:55	32	なし				
10	H27.3.18	19:00 ~ 21:05	25	・小中一貫教育の成果ほか ・埴生地区の将来像ほか	資料についてそれぞれ説明。再編案として、「現在の青年の家の位置に、公民館、支所、青年の家の統合施設として整備する」案を示した。市民資料あり。			
11	H27.4.15	19:00 ~ 20:50	25		市長から「公共施設は190号より北側に建てることとし、南側の整備は例外とする。青年の家のプール、建物、宿舎等は解体して更地にする。体育館、テニスコートなどを残し、将来検討する。」という基本方針を総論の結論とした。各論として、場所の検討に入った。 周辺農地の購入を前提とし、市民と市が同行し、打診することとなった。			
12	H27.5.20	19:00 ~ 20:45	19	・埴生小学校区内の地区別児童生徒数予測・埴生中学校用地図面・複合施設建物配置予想図	購入希望用地の取得に向けた感触について説明。 次回の意見交換会は内容を詰めた上で、10月を 目途に開催する予定とした。			
13	H27.6.17	中止	1					
14	H27.9.30	19:00 ~ 21:00	35	・埴生支所、埴生中学校の位 置図 ・複合施設の配置図、間取り 図 ・埴生小・中学校の校舎・運動 場の配置図、校舎の間取り図	それぞれ配布資料に基づいて説明し、質疑応答。 複合施設について、駐車場の確保、大講堂の確 保が要望として出された。			
15	H27.11.18	19:00 ~ 20:53	38	・埴生支所、埴生中学校の位置図 ・複合施設の配置図、間取り図(変更案) ・駐車場予定位置図 ・埴生小・中学校の校舎・運動場の配置図	複合施設建物については概ね了解を得られた。なお、市民の質問に対し、公民館部分について、当初案で8億円程度の事業費を見込み、構造として鉄骨造とする旨を示した。 また利便性確保のため、駐車場を80台程度確保すると約束した。			







■埴	■埴生・津布田校区の避難所							
	**	津布田小学校体育館						
		森本公会堂						
	**	埴生中学校体育館						
	**	埴生公民館						
		埴生小学校体育館						
		福田公会堂						
		長生園						
		サンライフ山陽						
		(※は優先的に開設する一時避難所)						

